

# 公共バス内で快適なWIFI およびネットワーク接続を実現する

## 概要

👍 今回はオーストリア発のネットワーク・ソリューション・プロバイダ「[Unwired Networks](#)」社とのパートナーシップによる事例です。「Unwired Networks」社は、公共のインターネット・アクセスを簡素化し、使いやすさを追求する事業を展開しています。

👍 今回のクライアント様である「[Postbus](#)」はオーストリア最大のバス会社です。地方都市を中心に、年間1億3,500万人の乗客が利用するバス内の、コネクティビティのアップグレードをご検討されていました。多数のバスを保有しているため、大規模なプロジェクトが予想されました。

👍 「Unwired Networks」社から、このソリューション用に当社の高性能4G LTEルーター「RUT956」をお選びいただきました。「RUT956」は堅牢で信頼性の高いLTE Cat 4接続機能を持ち、これによって「Unwired Networks」社のリモート管理サービスである「[Unwired Edge Cloud](#) (アンワイヤード・エッジ・クラウド)」と中断のない接続を維持することができます。「RUT956」を使用することで、効率的かつ快適な移動を実現する「完ぺき」なバスを実現することができました。

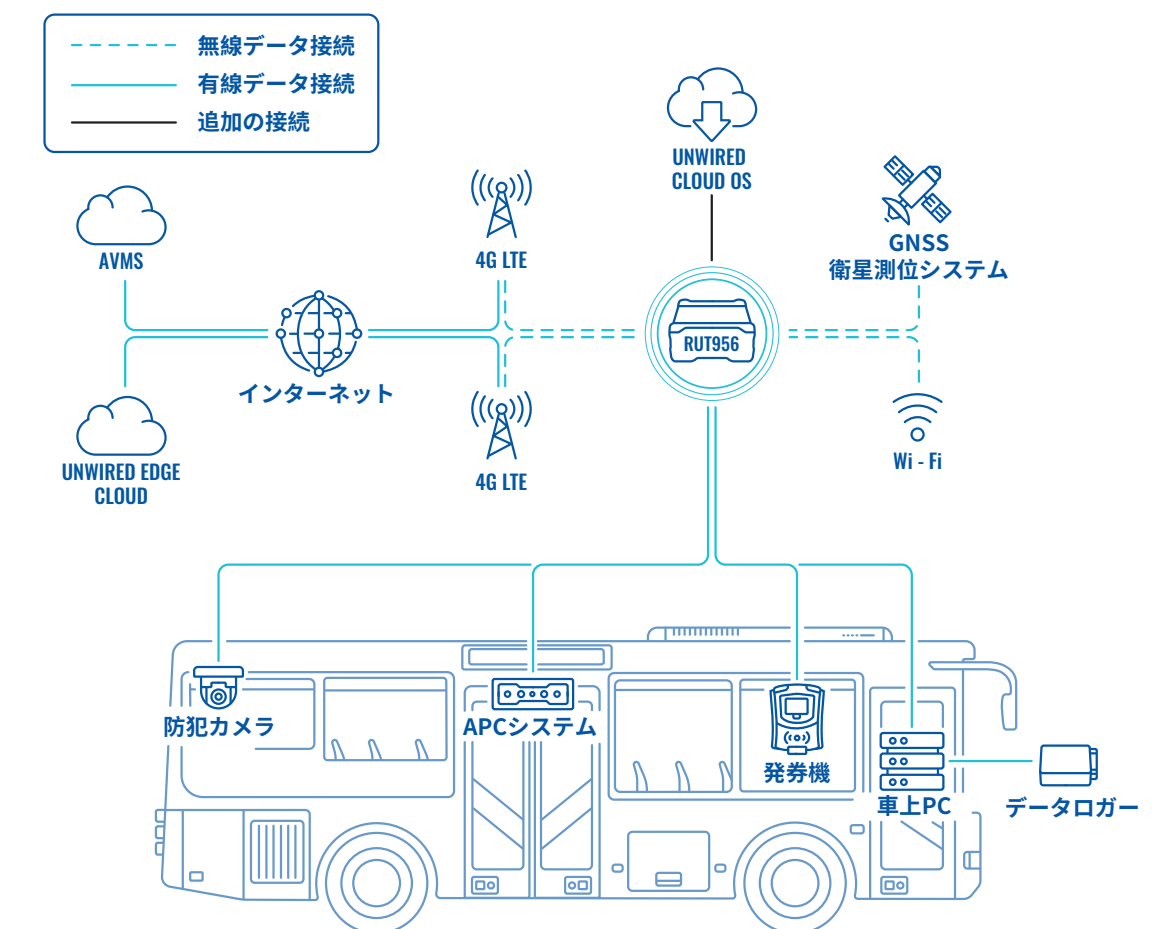
## 課題 – バス内の安定しないWIFI

バスの中でWifiが使えないというのは、不便なものです。でもさらに悪いのは、バス内でWifiの接続が安定しない状況です。Wifi接続のブラウザ画面からログインするまでに手間がかかり、つながったと思ったら今度はネット速度が遅い。さらに、田舎の道路を走っているせいで、いきなり接続が途切れてしまう...そんなバスのWifiは最悪です。

そのような中、オーストリア最大のバス会社である「Postbus」は、車内ネット接続の速度とクオリティを非常に重要視しています。乗客の約70%は学生、つまりデジタルネイティブで、クオリティの悪いインターネットを我慢できる世代ではありません。したがって、乗客のニーズに応え業界での競争力を保つためには、当然ながら優秀なインターネット接続は不可欠なのです。さらに、車内の監視カメラや自動発券機などの機器を効率的に機能させるためにも、インターネット接続が必須です。

しかしこの「Postbus」社のケースは、求められる要件が複雑でした。同社の路線は、インターネット・環境が理想的とは言い難い農村地域を走っています。さらに同社は年間1億3500万人（お隣のチェコ共和国ではさらに400万人）の乗客が利用するため、非常に多数のバスを抱えています。したがって、バスに常に高速で信頼性の高いネットワーク接続を担保すると同時に、設置や管理が簡単にできる汎用性のあるソリューションが必要でした。そこで「Unwired Networks」社から、要件を満たす完ぺきなソリューションの提案をうけることになりました。

## トポロジー



## ソリューション - バス停の終点は「スムーズなコネクティビティ」

この課題を解決するため「Unwired Networks」社には、当社テルトニカ・ネットワークスの高性能4G LTEルーター「RUT956」をお選びいただきました。「RUT956」は、デュアルSIMと自動フェイルオーバー機能付きのLTE Cat 4インターネットを搭載しており、高信頼性で中断のない絶対的な接続を保証します。また「RUT956」は幅広い電圧に対応でき、セットアップに必要な設定も不要なため、それぞれのバスに迅速かつ簡単に設置が可能です。

この事例では、「Unwired Networks」社発のふたつのソリューションをこの4G LTEルーター「RUT956」と連携させました。「RUT956」に直接インストールして使用する「Unwired Cloud OS」ファームウェアと、このルーターが安定した接続を維持するための「Unwired Edge Cloud」サービスです。このふたつによって、デバイスとデータ通信の遠隔監視／管理の簡素化ができます。また、さらに追加機能（専用VPN、コンテンツフィルタリング、簡単に設定できるユーザーログインポータルを備えた機能豊富な、乗客用Wi-Fiを備えた車載デバイス用の構造化ローカルネットワークなど）を加えることで、ソリューションを強化しています。

その上「RUT956」には内蔵VPN、車載に適したプロトコル対応機能、遠隔測定とモニタリングができるGNSS機能（衛星測位システム）などが搭載されており、今回の「Postbus」社用ソリューションに最適な製品でした。「RUT956」を搭載により各バスのコネクティビティが強化され、走行する場所に関わらず、高水準で最大100の同時接続に対応することが可能となりました。

